

011 健康経営 取り組み事例

企業
プロフィール



西川 株式会社

業種 26 卸売業
従業員数 1,216名(2022年度末)

01 目的

社員の帰属意識と満足度向上の為にオフィス環境の充実が必要と考え、順次改装を行った。具体的にはオープン・フリーデスクを導入し、光・音・香りの要素を取り入れ、社員がリラックスして働ける空間を設計した。

02 課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題

	課題 ① 従業員のパフォーマンス向上
健康経営で解決したい経営上の課題	「眠り」=「健康」を体現できる会社である為に、またその健康をプロデュースする社員自身が明るく元気に仕事の出来る環境・職場を構築する事が健康経営を推進する上で急務であった。
健康経営の実施により期待する効果	改装後には対象社員にエンゲージメントサーベイを実施した。サーベイは「職務」「健康」など9つの項目で構成され、初回総合スコアは72点だった。今後も働き方改革を進めながら、5年後総合スコア80点を目指す。

自社従業員(組織)の課題と目標

重点課題1 ⑬ 生活習慣病等の疾病リスクを持つ従業員への重症化予防の課題

課題内容	自身の健診結果については認識しているが、こと「血管年齢」に関しては把握している社員は少ないと思われ、健診以外で血管年齢を測定する機会が無い事に課題感を感じた。		
目標	健診結果におけるLDLコレステロール140(mg/dL)以上の社員		
	数値	単位	年度
取組前実績値	146	人	2022年度
現在の実績値	140	人	2023年度
目標値	100	人	2026年度

04 健康経営の成果

経営上の課題に対する健康経営の成果

従業員のパフォーマンス向上のためにはコミュニケーション促進が必要と考え、社員食堂であるカフェテリアについて、昼食時間帯以外をカフェタイム、更に終業後をコミュニケーションタイムと称して開放した。明確にルール化することで社員も積極的に利用を心掛けるようになり、予約利用率も上昇して31.2%となった。更なる活性化を目指し、オフィスコーヒーの導入や観葉植物の設置などの環境整備を進め、まずは予約利用率の50%化を目指したい。

03 施策・実績

健康経営の取り組み

施策内容(重点課題1)

血管年齢を測定することで血管の老化の程度、とりわけ動脈硬化の状態を認識してもらう機会を確保しようと考え、社内にて「血管年齢測定会」を実施する運びとなった。

具体的な実践内容1

分類	自社組織
名称	血管年齢測定会
内容	企画にあたっては当社だけではなくグループ会社や関係会社と共同で立案し、社内にて「血管年齢測定会」を実施する運びとなった。開催場所に関しては社員の動線が見込めるカフェテリア前で行った。
導入時期	2023年6月
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none">●実施の結果、想定100名に対し参加人数は154名と関心の高さが伺えた。動線を考慮し、また簡易な検査であったのも功を奏した。●実施に際してはアンケートを記入してもらい、自身の健康管理について振り返ってもらう機会とした(食事・運動習慣や喫煙・アルコール摂取の有無など)。今後も実施を続け、全オフィス・社員をカバーしながら自身の血管年齢を継続的に確認できる環境構築を目指す。

データ活用事例

事例名	アテネ不眠尺度
利用データ	管理職等(ユースケース2)、従業員(ユースケース3)

取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	「血管年齢測定会」等の各取り組みが単発的であり、幅広くかつ継続的に実施出来ていない。労働衛生や労務管理のスタッフが少ない為、専属的で充実した活動に取り組めていない。
今後取り組みたい施策の課題	健診やストレスチェック等の個人結果について横断的に網羅した健康管理システムの導入について、未だ検討中であり実現に至っていない。各取り組みの連携とデータの利活用が急務である。